

医薬品インタビューフォーム

日本病院薬剤師会の IF 記載要領 2008 年に準拠して作成

肝臓疾患用剤・アレルギー用薬

強力ネオミノファーゲンシー® P 静注 20mL

STRONGER NEO-MINOPHAGEN C P Inj. 20mL

**強力ネオミノファーゲンシー® 静注 20mL
静注 5mL**

STRONGER NEO-MINOPHAGEN C Inj. 20mL / Inj. 5mL

**強力ネオミノファーゲンシー® 静注 シリンジ 20mL
静注 シリンジ 40mL**

STRONGER NEO-MINOPHAGEN C Inj. Syringe 20mL / Inj. Syringe 40mL

剤形	水性注射剤					
製剤の規制区分	処方箋医薬品:注意-医師等の処方箋により使用すること					
規格・含量	本剤は1管(シリンジは1筒)中に次の成分を含有する。					
	成分	強力ネオミノファーゲンシー				
		静注シリンジ 40mL	静注シリンジ 20mL	P 静注 20mL	静注 20mL	静注 5mL
	グリチルリチン酸一アンモニウム (グリチルリチン酸として)	106mg (80mg)	53mg (40mg)		13.25mg (10mg)	
	日局グリシン	800mg	400mg		100mg	
日局L-システイン塩酸塩水和物 (L-システイン塩酸塩として)	44.58mg (40mg)	22.29mg (20mg)		5.58mg (5mg)		
一般名	和名:グリチルリチン酸一アンモニウム、グリシン、L-システイン塩酸塩水和物 洋名: Monoammonium glycyrrhizinate、Glycine、L-Cysteine hydrochloride hydrate					
製造販売承認年月日 薬価基準収載・発売年月日		強力ネオミノファーゲンシー				
		静注シリンジ 40mL	静注シリンジ 20mL*	P 静注 20mL**	静注 20mL***	静注 5mL***
	製造販売承認年月日	2008年12月26日	2009年6月29日	2009年1月6日	2007年2月28日	
	薬価基準収載年月日	2009年5月15日	2009年9月25日	2009年3月25日	2007年6月15日	
発売年月日	2009年5月21日	2009年5月21日	2005年10月5日	1959年2月2日	1948年11月	
* シリンジ 20mL として 2005 年 3 月 2 日に承認 ** P20mL として 2005 年 3 月 2 日に承認 *** 5mL は 1948 年 6 月 2 日に強力ネオミノファーゲンシーとして承認、20mL は 1957 年 7 月 24 日に追加承認						
開発・製造販売(輸入)・提携・販売会社名	製造販売元:  株式会社 ミノファーゲン製薬 販売元:  EAファーマ株式会社					
医薬情報担当者の連絡先	TEL: FAX:					
問い合わせ窓口	株式会社ミノファーゲン製薬 くすり相談窓口		TEL:03(5909)2322 FAX:03(5909)2324 http://www.minophagen.co.jp			
	EAファーマ株式会社 くすり相談 医療関係者向けホームページ		TEL:0120-917-719 http://www.eapharma.co.jp/			

本 IF は 2016 年 4 月改訂の添付文書の記載に基づき改訂した。

最新の添付文書情報は、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> にてご確認ください。

XIII. 備考

その他関連資料

配合変化表

注意事項:

本配合変化表は、配合による外観変化を記載したものであり、表中に変化なしとの試験結果が示されている場合でも、実際の治療に応用する場合は、配合薬剤の物理的、化学的性質および治療学的観点等を十分考慮し、注意して実施することが望ましい。

試験方法

強力ネオミノファーゲンシー(強ミノC)と他の薬剤との配合直後、並びに常温、室内散光下に 1 時間、2 時間、3 時間、6 時間及び 24 時間放置した後、肉眼により外観変化を観察した。

表の見方

- 1) pH: 配合薬剤の試料 pH である。ただし、配合前に測定を実施していない場合は配合直後の pH を記載した。
- 2) 外観: 薬剤配合後 24 時間までの経時変化を記載した。変化が認められた場合にはコメントを、注意が必要な薬剤には⊕及びコメントを併記した。なお、酸性側薬剤の判定は、配合薬剤の pH 規格下限値が pH4.5 より下回る薬剤とした。

薬効別分類索引

1. 輸液・補液	33 血液・体液用薬
32 滋養強壯薬	-2 止血剤..... 41
-3 糖類剤..... 36	-3 血液凝固阻止剤..... 41
-5 タンパクアミノ酸製剤..... 37	39 その他の代謝性医薬品..... 41
33 血液・体液用薬	42 腫瘍用薬..... 41
-1 血液代用剤..... 38	44 アレルギー用薬..... 41
2. 注射薬	61 抗生物質製剤..... 41
11 中枢神経系用薬..... 39	62 化学療法剤..... 41
12 末梢神経系用薬..... 39	
21 循環器官用薬..... 39	
23 消化器官用薬..... 39	
24 ホルモン剤..... 39	
29 その他の個々の器官系用医薬品..... 40	
31 ビタミン剤	
-3 ビタミン B 剤(ビタミン B ₁ 剤を除く)..... 40	
-7 混合ビタミン剤(ビタミン A・D 混合製剤を除く).... 40	
32 滋養強壯薬	
-1 カルシウム剤..... 40	
-2 無機質製剤..... 40	
-6 臓器製剤..... 40	

注) 薬効別分類の表記は、平成2年6月に改正された「日本標準商品分類」に準拠している。

五十音順索引

ア	アスバラカリウム注 10mgEq 40 アタラックス P 注射液 25mg/mL・50mg/mL 39 アデホス-L コーワ注 20mg 41 アデラビン 9 号注 1mL 40 アドナ注 (静脈用) 100mg 41 アドリアシン注用 41 アミニック輸液 37 アミノトリパ 1 号輸液 37 アミノフリード輸液 37 アミノレバン点滴静注 37 アミパレン輸液 37 アンナカ注「フソー」-20% 39 EL-3 号輸液 38 イスコチン注 100mg 41 イソゾール注射用 0.5g 39 ヴィーン D 注 38 エレメンミック注 40 塩化カルシウム注「ヒシヤマ」2% 40 オーツカ MV 注 40 大塚生食注 42 大塚糖液 5% 42
カ	カルチコール注射液 8.5% 5mL 40 キシリット T 輸液 5% 36 クロール・トリメトン注 10mg 41 KN 2 号輸液 38 KN 3 号輸液 38 KNMG 3 号輸液 38 コントミン筋注 25mg 39
サ	サクシゾン注射用 100mg 39 サクシゾン静注用 500mg・1000mg 39 ジギラノゲン注 0.4mg 39 静注用マグネゾール 20mL 39 水溶性ブレドニン 10mg 39 スキサメトニウム注 100「AS」 39 セファメジン α 注射用 1g 41 セファランチン注射液 40 セルシン注射液 5mg 39 ソリタックス-H 輸液 38 ソセゴン注射液 30mg 39 ソリター T1 号輸液 38 ソリター T2 号輸液 38 ソリター T3 号輸液 38 ソリター T4 号輸液 38 ソルコセルル注 2mL 39 ソル・コーテフ静注用 500mg 40 ソルデム 3A 輸液 38

タ	ソラクト輸液 38 タガメット注射液 200mg 39 タチオン注射用 200mg 41 ダラシン S 注射液 300mg 41 注射用エフオーワイ 100 41 注射用エンドキサン 100mg 41 注射用フサン 10 41 注射用ルシドリール 250mg 39 デカドロン注射液 3.3mg 40 テルモ果糖注 5% 36 点滴静注用アンコーマ 20% 41 トランサミン注 5% 41 トリパレン 1 号輸液 36 トリパレン 2 号輸液 36
ナ	ニコリン注射液 100mg 39 ネオアミュー輸液 37 ネオフィリン注 250mg 39 ネオラミン・スリービー液 (静注用) 40 ネオラミン・マルチ V 注射用 40 ノイトロピン注射液 3.6 単位 39 ノボ・ヘパリン注 5 千単位/5mL 41 ノルアドリナリン注 1mg 40
ハ	ハイカリック液-1 号 37 ハイカリック液-2 号 37 ハイカリック液-3 号 37 ハイ・プレアミン注-10% 37 ハイ・プレアミン S 注-10% 37 パントシン注 10% 40 パントール注射液 500mg 40 ピーエヌツイン-1 号輸液 37 ピーエヌツイン-2 号輸液 37 ピーエヌツイン-3 号輸液 37 光糖液 20% 37 ビタメジン静注用 40 ビドキサール注 10mg 40 ヒドロキシコバラミン注 1000 μg「イセイ」 40 5-FU 注 250 協和 41 フィジオ 35 輸液 38 フィジオゾール 3 号輸液 38 フェジン静注 40mg 40 フォリアミン注射液 40 ブスコパン注 20mg 39 フトラフル注 400mg 41 プラスアミノ輸液 38 フラッド注-10 40 フラビタン注 5mg 40 プリンペラン注射液 10mg 39

ブレオ注射用 15mg.....	41
プロスタルモン・F 注射液 1000	40
ペントシリン注射用 2g.....	41
ポタコールR輸液.....	38
ポララミン注 5mg.....	41
マ マイトマイシン注用 2mg.....	41
マックアミン輸液.....	38
マンニット T 注 15%.....	39
ミノマイシン点滴静注用 100mg	41
メイロン静注 7%.....	39

ユニカリック N 輸液.....	38
ラ ラクテック注	38
ラクテック G 輸液.....	38
ラボナール注射用 0.3g.....	39
硫酸カナマイシン注射液 1000mg「明治」	41
リンゲル液「オーツカ」	38
リンデロン注 4mg (0.4%)	40

注) 薬剤名の表記は、「JAPIC 医療用医薬品集」
2013年版に準拠している。

ヤ ユニカリック L 輸液	38
----------------------------	----

1. 輸液・補液

分類	商品名(会社名)	pH(実測値)	配合薬剤量	強ミノC量(mL)	外観(24h までの経時変化)	
32 滋養強壯薬	3 キシリットT輸液 5% (テルモ)	4.8	500mL	20	変化なし	
		3.7	500mL	20	変化あり 6h までにゲル化した	
		4.61	600mL	20	変化なし Ⓜ酸性側薬剤である	
	トリパレン 1 号輸液 (大塚)	4.59	600mL	40	変化あり 24h までに白濁が生じた	
		4.59	600mL	60	変化あり 6h までに白濁が生じた	
		4.60	600mL	80	変化あり 3h までに白濁が生じた	
		4.58	600mL	100	変化あり 配合直後に白濁が生じた	
		トリパレン 2 号輸液 (大塚)	4.54	600mL	20	変化なし Ⓜ酸性側薬剤である
			4.52	600mL	40	変化あり 24h までに白濁が生じた
	4.52		600mL	60	変化あり 6h までに白濁が生じた	
	4.52		600mL	80	変化あり 3h までに白濁が生じた	
	4.49		600mL	100	変化あり 2h までに白濁が生じた	

分類	商品名(会社名)	pH(実測値)	配合薬剤量	強ミノC量(mL)	外観(24hまでの経時変化)	
32 滋養強壯薬	3 ハイカリック液-1号 (テルモ)	4.47	700mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である	
		4.42	700mL	40, 60	変化あり 2hまでに白濁が生じた	
		4.42	700mL	80	変化あり 1hまでに白濁が生じた	
		4.45	700mL	100	変化あり 配合直後に白濁が生じた	
		ハイカリック液-2号 (テルモ)	4.44	700mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である
			4.39	700mL	40	変化あり 2hまでに白濁が生じた
			4.40	700mL	60	変化あり 2hまでに白濁が生じた
			4.39	700mL	80	変化あり 1hまでに白濁が生じた
			4.41	700mL	100	変化あり 配合直後に白濁が生じた
		ハイカリック液-3号 (テルモ)	3.99	700mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である
			3.98	700mL	40, 60, 80	変化あり 1hまでに白濁が生じた
			4.00	700mL	100	変化あり 配合直後に白濁が生じた
	光糖液 20% (光)	5.39	500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし ㊦酸性側薬剤である	
	5	アミニック輸液 (味の素)	7.27	200mL	20	変化なし
		アミノリバ1号輸液 (大塚)	5.57 (配合直後)	850mL	40	変化なし
		アミノフリード輸液 (大塚)	6.74	500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
		アミノレバン点滴静注 (大塚)	5.96	200mL	20	変化なし
			6.08	200mL	40	変化なし
			6.07	200mL	60, 100	変化なし
		アミパレン輸液 (大塚)	7.13	200mL 300mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
			7.11	400mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
		ネオアミュー輸液 (味の素)	7.16	200mL	40	変化なし
		ハイ・プレアミン 注-10% (扶桑)	5.74	20mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
		ハイ・プレアミン S注-10% (扶桑)	5.72	20mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
		ピーエヌツイン-1号 輸液 (味の素)	5.00	1000mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
		ピーエヌツイン-2号 輸液 (味の素)	5.10	1100mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
		ピーエヌツイン-3号 輸液 (味の素)	5.18	1200mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし

分類		商品名(会社名)	pH(実測値)	配合薬剤量	強ミノC量(mL)	外観(24hまでの経時変化)		
32 滋養強壯薬	5	プラスアミン輸液 (大塚)	4.52	500mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である		
				500mL	40, 60, 80, 100	変化あり 24hまでに白濁が生じた		
		マックアミン輸液 (日本製薬)	6.76 (配合直後)	500mL	20	変化なし		
		ユニカリックL輸液 (テルモ)	4.28	1000mL	20, 40, 60	変化なし ㊦酸性側薬剤である		
				1000mL	80, 100	変化あり 1hまでに僅かに白濁が生じた		
		ユニカリックN輸液 (テルモ)	4.30	1000mL	20, 40, 60	変化なし ㊦酸性側薬剤である		
				1000mL	80, 100	変化あり 1hまでに僅かに白濁が生じた		
		33 血液・体液用薬	1	EL-3号輸液 (味の素)	5.45	500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
				ヴァーンD注 (興和)	5.32	500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
				KN2号輸液 (大塚)	4.7	500mL	20	変化なし
KN3号輸液 (大塚)	5.42			200mL 500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
KNMG3号輸液 (大塚)	4.92 4.90			200mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
				500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
ソリタックス-H輸液 (味の素)	5.82 (配合直後)			500mL	40	変化なし		
ソリター-T1号輸液 (味の素)	5.17 5.19			200mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
				500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
ソリター-T2号輸液 (味の素)	5.14			200mL 500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
ソリター-T3号輸液 (味の素)	5.17 5.19			200mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
				500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
ソリター-T4号輸液 (味の素)	5.3			500mL	20	変化なし		
ソルデム3A輸液 (テルモ)	6.09			500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
ソルラクト輸液 (テルモ)	6.42			500mL	40	変化なし		
フィジオ35輸液 (大塚)	4.99			500mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし		
フィジオボール3号 輸液 (大塚)	4.4			500mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である		
ポタコールR輸液 (大塚)	4.91			250mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし ㊦酸性側薬剤である		
ラクテック注 (大塚)	6.5			500mL	20	変化なし		
ラクテックG輸液 (大塚)	6.4			500mL	20	変化なし		
リングル液「オーツカ」 (大塚)	6.0			500mL	20	変化なし		

2. 注射薬

分類	商品名(会社名)	pH(実測値)	配合薬剂量	強ミノC量(mL)	外観(24hまでの経時変化)
中枢神経系用薬	アタラックスP注射液 25mg/mL・50mg/mL (ファイザー)	4.1	25mg/1mL 50mg/1mL	20, 60, 80, 100	変化あり 配合直後に白濁が生じたが、 その後澄明にもどった
	イソゾール注射用 0.5g (日医工)	11.1	0.5g/20mL	20	変化あり 配合直後に白濁が生じ、 その後1hまでに結晶が析出した
	コントミン筋注 25mg (田辺三菱)	5.7	25mg/5mL	20	変化あり 配合直後に白濁が生じ、 その後1hまでに結晶が析出した
	セルシン注射液 5mg (武田)	6.4	5mg/1mL	20	変化あり 配合直後に白濁が生じたが、 攪拌すると澄明にもどった
	ソセゴン注射液 30mg (丸石)	4.4	30mg/1mL	20	変化あり 配合直後に白濁が生じたが、 攪拌すると澄明にもどった
	ニコリン注射液 100mg (武田)	7.0	100mg/2mL	20	変化なし
	ノイロトピン注射液 3.6単位 (日本臓器)	7.60	3mL	20, 40	変化なし
	ラボナール注射用 0.3g (田辺三菱)	11.2	0.3g/D.W. 12mL	20	変化あり 配合直後に白色結晶が析出した
	注射用ルシドロール 250mg (共和薬品)	5.95 (配合直後)	250mg/D.W. 10mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である
末梢神経系用薬	スキサメトニウム注 100 「AS」 (アステラス)	3.8	100mg/5mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である
	ブスコパン注 20mg (日本ベーリンガー)	4.2	20mg/1mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である
	静注用マグネゾール 20mL (東亜薬工)	4.9	20mL	20	変化なし ㊦酸性側薬剤である
循環器官用薬	アンナカ注「フソール」20% (扶桑)	7.2	200mg/1mL	20	変化なし
	ジギラノゲン注 0.4mg (アイロム)	6.3	0.4mg/2mL	20	変化なし
	ネオフイリン注 250mg (エーザイ)	9.1	250mg/10mL	20	変化なし
	マンニットT注 15% (テルモ)	5.1	500mL	20	変化なし
消化器官用薬	ソルコセルル注 2mL (東菱)	6.9	2mL	20	変化あり 24hまでに僅かに濁りが生じた
	タガメット注射液 200mg (大日本住友)	5.54	200mg/2mL	20	変化なし
	プリンペラン注射液 10mg (アステラス)	3.5	10mg/2mL	20	変化あり 24hまでに僅かに濁りが生じた
	メイロン静注 7% (大塚)	8.3	20mL	20	変化なし
ホルモン剤	サクシンゾン注射用 100mg (大正)	7.31	100mg/2mL (生理食塩液)	20	変化あり 24hまでに少量の沈殿が生じた
	サクシンゾン静注用 500mg・1000mg (大正)	7.37	500mg/6mL (生理食塩液)	20	変化あり 24hまでに少量の沈殿が生じた
		7.26	1000mg/10mL (生理食塩液)	20	変化あり 24hまでに少量の沈殿が生じた
	水溶性プレドニン 10mg (塩野義)	6.39	10mg/D.W. 1mL	20	変化なし

分類		商品名(会社名)	pH(実測値)	配合薬剤量	強ミノC量(mL)	外観(24hまでの経時変化)
24 ホルモン剤		ソル・コーテフ静注用 500mg (ファイザー)	7.6	500mg/D.W. 4mL	20	変化あり 1hまでに沈殿が生じた
		デカドロン注射液 3.3mg (MSD)	7.76	3.3mg/1mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
		ノルアドリナリン注 1mg (第一三共)	3.0	1mg/1mL	20	変化あり 6hまでに色調変化を認めた
		プロスタルモン・F 注射液 1000 (小野)	6.45 (配合直後)	1mg/1mL	20	変化なし
		リンデロン注 4mg(0.4%) (塩野義)	6.64 (配合直後)	4mg/1mL	20	変化なし
29 ※		セファランチン注射液 (化研生薬)	3.0	5mg/1mL	20	変化あり 配合直後に白濁が生じたが、 攪拌すると澄明にもどった
31 ビタミン剤	3	ヒドロキシコバラミン注 1000 μ g「イセイ」 (イセイ)	5.6	1mg/1mL	20	変化なし
		パントシン注 10% (第一三共)	4.7	2mL	20	変化あり 6hまでに色調変化を認めた
		パントール注射液 500mg (トーアエイヨー)	5.2	500mg/2mL	20	変化あり 6hまでに色調変化を認めた
		ピドキサール注 10mg (中外)	6.4	10mg/1mL	20	変化あり 6hまでに色調変化を認めた
		フォリアミン注射液 (日本製薬)	8.7	15mg/1mL	20	変化あり 24hまでに僅かに濁りが生じた
		フラッド注-10 (大鵬)	5.4	10mg/1mL	20	変化あり 3hまでに色調変化を認めた
		フラビタン注 5mg (トーアエイヨー)	5.6	5mg/1mL	20	変化あり 6hまでに色調変化を認めた
	7	オーツカ MV 注 (大塚)	6.27 (配合直後)	1 セット	20	変化なし
		ネオラミン・スリービー液 (静注用)(日本化薬)	3.82	10mL	20, 40, 60, 80, 100	変化あり 6hまでに色調変化を認めたが、 攪拌すると元の色調にもどった
		ネオラミン・マルチV注射液 (日本化薬)	5.37 (配合直後)	1 瓶/D.W. 5mL	20	変化なし
		ピタメジン静注用 (第一三共)	4.2	1 瓶/D.W. 20mL	20	変化あり 1hまでに色調変化を認めた
32 滋養強壯薬	1	塩化カルシウム注 「ヒシヤマ」2% (ニプロファーマ)	5.6	400mg/20mL	20	変化なし
		カルチコール注射液 8.5% 5mL (日医工)	7.03	8.5% 5mL	20	変化なし
	2	アスパラカリウム注 10mEq (田辺三菱)	7.5	1712mg/10mL	20	変化なし
		エレメンミック注 (味の素)	5.09	2mL	20	変化あり 配合直後に色調変化を認めた
		フェジン静注 40mg (日医工)	9.5	40mg/2mL	20	変化あり 1hまでに濁りが生じた
	6	アデラビン 9 号注 1mL (マイラン)	6.43 (配合直後)	1mL	20	変化なし

※その他の個々の器官系用医薬品

分類	商品名(会社名)	pH(実測値)	配合薬剤量	強ミノC量(mL)	外観(24hまでの経時変化)
33 血液・体液用薬	2 アドナ注(静脈用)100mg (田辺三菱)	5.75	100mg/20mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
	トランサミン注 5% (第一三共)	7.4	5mL	20	変化なし
	3 ノボ・ヘパリン注 5千単位/5mL (持田)	6.75	5mL	20	変化なし
39 その他の代謝性医薬品	アデホス-Lコーワ注 20mg (興和)	9.6	20mg/2mL	20	変化なし
	点滴静注用アンコーマ 20% (東亜薬工)	7.2	4g/20mL	20	変化なし
	注射用エフオーワイ 100 (小野)	4.70	100mg/500mL (5%ブドウ糖液)	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
	タチオン注射用 200mg (長生堂)	5.7	200mg/D.W. 3mL	20	変化なし Ⓜ溶解液を用いないと、 6hまでに少量の微粒子が析出した
	注射用フサン 10 (鳥居)	6.28 (配合直後)	10mg/500mL (5%ブドウ糖液)	20	変化あり 配合直後に白濁が生じ、 その後 6hまでに白沈が生じた
42 腫瘍用薬	アドリアシン注用 (協和発酵キリン)	5.7	10mg/D.W. 5mL	20	変化あり 3hまでに沈殿、および色調変化を認めた
	注射用エンドキサン 100mg (塩野義)	6.3	100mg/5mL (生理食塩液)	20	変化なし
	5-FU 注 250 協和 (協和発酵キリン)	8.35	250mg/5mL	20	変化なし (6hまでの外観変化観察による結果)
	フトラフル注 400mg (大鵬)	10.0	400mg/10mL	20	変化なし
	プレオ注射用 15mg (日本化薬)	5.8	15mg/D.W. 5mL	20	変化なし
	マイトマイシン注用 2mg (協和発酵キリン)	6.8	2mg/D.W. 5mL	20	変化なし
44 ギール用薬	クロール・トリメトン注 10mg (MSD)	4.84	10mg/1mL	20	変化なし
	ポララミン注 5mg (MSD)	4.8	5mg/1mL	20	変化なし
61 抗生物質製剤	セファメジンα注射用 1g (アステラス)	5.5	1g/D.W. 10mL	20	変化あり 配合直後に色調変化を認めたが、 その後元の色調にもどった
	ダラシンS注射液 300mg (ファイザー)	6.57	300mg/2mL	20, 40, 60, 80, 100	変化なし
	ペントシリン注射用 2g (富山化学)	5.9	2g/D.W. 10mL	20	変化なし
	ミノマイシン点滴静注用 100mg (ファイザー)	2.28	100mg/D.W. 5mL	40, 60, 80, 100	変化あり 配合直後に液の一部に濁りが生じたが、 直ちに澄明にもどった (6hまでの外観変化観察による結果)
	硫酸カナマイシン注射液 1000mg「明治」 (Meiji seika ファルマ)	6.9	1g/4mL	20	変化あり 配合直後に白濁が生じたが、 攪拌すると澄明にもどった
62	イスコチン注 100mg (第一三共)	6.7	100mg/2mL	20	変化なし

(2013年3月作成)

〈参考〉 強力ネオミノファーゲンシーの残存率

1) 試験方法

強力ネオミノファーゲンシー40mL (20mL×2 本)を配合頻度の高い薬剤のソフトバッグ中に配合し、15～25℃、室内散光下に、直後、1時間、3時間、6時間及び24時間後の強力ネオミノファーゲンシーの成分含量(残存率)、pHの測定および肉眼による外観変化を観察した。

2) 試験薬剤

- 強力ネオミノファーゲンシーP 静注 20mL
- 大塚生食注 250mL ソフトバッグ(製造販売元 大塚製薬工場):「日局」生理食塩液
- 大塚糖液 5% 250mL ソフトバッグ(製造販売元 大塚製薬工場):「日局」5%ブドウ糖注射液

3) 試験結果

①大塚生食注 250mL ソフトバッグ

項目	直後	1時間後	3時間後	6時間後	24時間後
外観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
pH	6.50	6.50	6.47	6.46	6.48
グリチルリチン酸 残存率(%)	100.0	100.0	99.9	99.6	99.7
グリシン 残存率(%)	100.0	100.5	100.5	100.6	100.7
L-システイン塩酸塩 残存率(%)	100.0	101.5	100.3	100.4	99.2

(残存率は配合直後の含量に対する比)

②大塚糖液 5% 250mL ソフトバッグ

項目	直後	1時間後	3時間後	6時間後	24時間後
外観	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明
pH	6.51	6.49	6.39	6.31	6.01
グリチルリチン酸 残存率(%)	100.0	100.0	99.8	99.8	99.7
グリシン 残存率(%)	100.0	99.9	100.0	100.0	99.8
L-システイン塩酸塩 残存率(%)	100.0	96.4	92.3	86.9	69.3

(残存率は配合直後の含量に対する比)

注意事項:


本試験結果は、強力ネオミノファーゲンシーと上記薬剤との配合変化を示したものであり、有効性および安全性を保証するものではない。

本資料に収載の試験データはミノファーゲン製薬において検討したものです。

製造販売元

 株式会社 **ミ/ファーゲ/製薬**
東京都新宿区西新宿3-2-11

販売元

 **EAファーマ株式会社**
東京都中央区入船二丁目1番1号

CODE IF・SMC・1802
2018年2月作成